

視察報告書

委員会名	市民福祉常任委員会					
視察日時	平成27年11月18日(水) 9時30分～11時00分					
視察先	市町村名	岐阜県関市	人口	91,003人	面積	472.80k㎡
視察項目	しあわせヘルスプロジェクト事業に関する調査					
視察参加議員	井上健作、松月よし子、浦伊三次、三嶋俊蔵、黒田公二、徳安達成、田中菊雄					
視察随行職員	西正文					

視察概要

関市は岐阜県の中央部に位置し、「刃物のまち」として全国的に知られた広大な面積を有する自然豊かなまちである。平成17年に2町3村を編入したが、他の自治体を囲むV字型の市域であることから、行政効率(サービス)という観点では大変な苦労があるだろうと推察される。

関市では、「日本一しあわせのまち・関市」との市長公約から、「すべての市民が自ら健康づくりに取り組み、笑顔で生き生き生活できるまち」を基本理念とし、ライフステージ別(乳幼児期～高年期まで6段階)の健康づくり事業(しあわせヘルスプロジェクト事業)に取り組んでいる。

(しあわせプロジェクト事業)

① しあわせヘルスマイレージ

この事業は、市民ががん検診や健康づくり事業へ参加するごとにマイレージポイントが記録され、30ポイント貯まったカードを応募すると、抽選により協賛企業から提供された魅力的な賞品が当たる事業であり、市民に楽しんでもらいながら健診受診率・健康意識の向上を目指している。

平成26年度は、419人の応募者があり、53社の企業から265種の商品が提供されていた。受診率などへの波及効果はまだ表れていないが、著名人を招いての健康講演会を開催するなど、5カ年計画で市民の健康意識向上に努めていた。

② ミリオンウォーキング

この事業は、歩く健康づくり事業として平成26年度より実施されており、全世帯に配布される「登録はがき」で参加登録した市民は、「ウォーキング手帳」により4か月で100万歩のウォーキングを目指すというもの。

この事業では、地域ごとにウォーキングコースを設定したり、参加市民の声をHP上で紹介するなど市民が参加しやすい環境づくりに努めていた。26年度の参加者は791人で、目標達成者にはオリジナル認定証が授与されることから、市民のウォーキング目標の

1つとなっていた。

③ 企業対抗ミリオンウォーキング

この事業は、ミリオンウォーキングの企業版として実施されている。5人1組でチームを組み、1か月間のウォーキング歩数を競うもので、上位3チームを表彰する取り組みである。平成26年度は、23企業から37チームが参加している。

ミリオンウォーキングが60歳以上の参加が6割を占めているのに対して、この事業では参加者の9割が20代から50代となっていた。その理由として、企業対抗の取り組みであることから、現役世代が参加しやすい環境となるため、幅広い年齢層の市民が参加しているとのこと。

市はさらなる参加企業の増加を目指して企業訪問に力を入れている。

意見（本市にとって活用すべき事項・課題など）

関市の取り組みは、すぐに受診率や健康意識の向上に結びついてはいなかったが、長期的・計画的に、市民に楽しんでもらいながら健康づくりに取り組んでいた。事業に参加した市民の声も「今後も継続していきたい」などの感想が多数で、健康意識の向上という効果がうかがえた。また、市域の地形を活かしたウォーキングマップを作成して、市民に参加したいと思わせる仕組みづくりも行っており、糸島市にとって参考となる事業であった。